

コロナの影響を受け現在の活動のようす

- 活動がとまっている。つながりが持ちにくいから一歩ずつ。HPを活用してやれることをしている。〈地縁組織団体〉
- 母子寡婦会では会員家族向けに、子どもの日にテイクアウトのプレゼントを行った。支援情報が回るように、補助金を取りこぼすことなく会員に共有したい。〈ひとり親支援団体〉
- コロナの件で病院の支援、エフロンづくり、受診の心得チラシの配布などを早急に行った。協働のまちづくりの遅れも痛感した。今後も立場の違いを超えて理解し合えるか、日頃からの関係づくり、情報交換も必要だと感じた。医療支援団体
- 3月議会でAI活用について質問した。〈市議会議員〉
- 子育て活動は前期は全部中止。今後の子育てサロンの準備をオンラインで進めている。子育て支援団体
- 利用者も通所を控え、連絡はチャットワーク、リモートにて訓練中。〈就労支援組織〉



これからのまちづくりについて

- 巣籠もりの高齢者のフォローを早急に考えなくては。電話作戦してはどうか。〈レクリエーション団体〉
- 子育て活動団体として、学校給食をよくする活動をしている。給食センターへの訪問してみると、給食センターとしていろいろ考えてくれているが、私たち市民に情報が伝わっていない。ぜひ社会に発信していきたい。〈子育て支援団体〉
- 生涯学習課では未来塾を進めている。未来塾とは、若者と一緒に行うまちづくり事業のこと。今後は一般公募もしていきたい。子ども食堂、企業さんとの連携も未来塾で考えている。
- あま市でも自然栽培で安心野菜作りがやりたい。農業分野で就労支援と組み合わせられないか。お金をもらって、付加価値をつけて販売してみては。農家さんと施設をつなぐシステムを考えたい。〈子育て支援団体〉
- 「ナチュラールスクールランチアクション」といって、環境や食について、ナチュラルに生きる未来にしたいと願って活動中。〈子育て支援団体〉
- 就労継続支援B型事業所勤務。人と対面できないが、就労先を探している。あま市の企業と繋がってきたい。〈就労支援組織〉

